小学生用

自転車に正しく乗ろう

「自転車は、車の仲間です。」
「交通ルールが決められています。」
「決まりを守って正しく乗り、」
「交通事故にあわないように気をつけましょう。」

街とともに。人とともに。
FOR MORE COMMUNICATION
けいしちょう

自転車の交通ルール

自転車安全利用五則

1 自転車は、車道が原則、歩道は例外

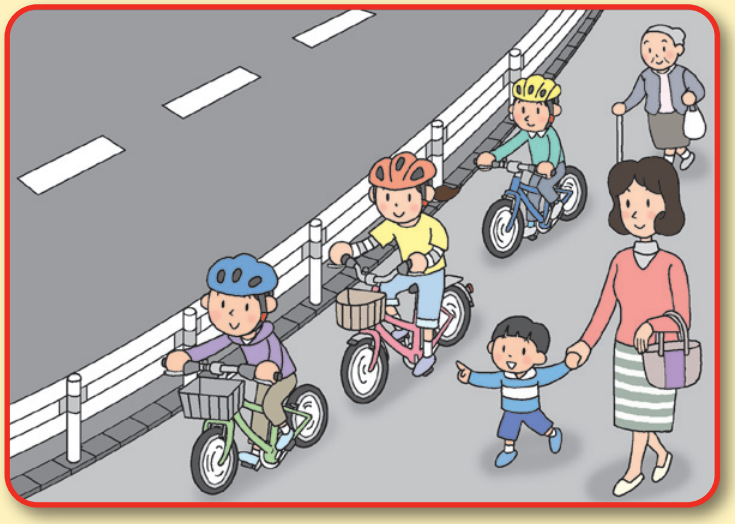
自転車は、車道の左側を通ることが決まりですが、子供（13歳未満）が自転車に乗るときは、歩道を通ることができます。

保護者の方へ

大人（13歳以上）が自転車で歩道を通行できるのは、道路標識により自転車が歩道を通行することができる場合と、車道を通行することが危険でやむを得ない場合などです。

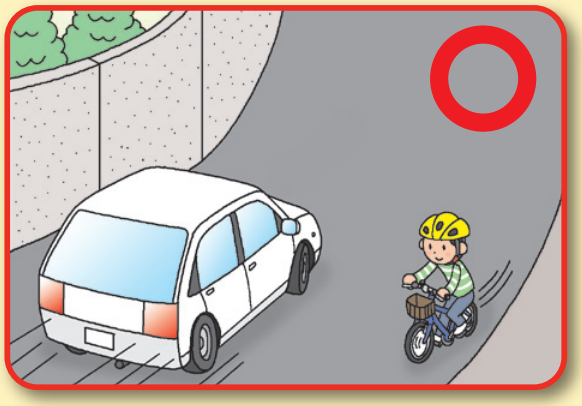
ただし、70歳以上の人と身体の不自由な人も、子供と同じように歩道を通ることができます。

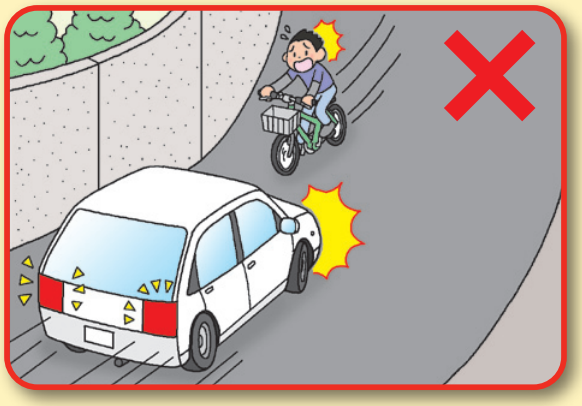
（道路交通法第63条の4、道路交通法施行令第26条、交通の方法に関する教則）



2 車道は左側を通行

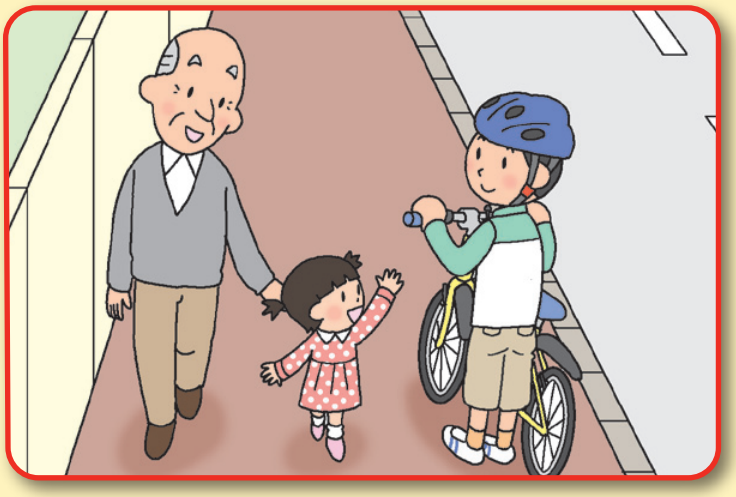
車道を通るときは、左側を通ります。





3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

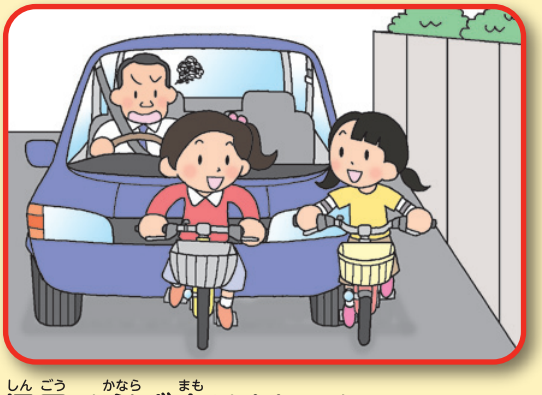
歩道は歩いている人が優先です。歩道を通るときは車道側に寄って通行し、歩いている人のぼう害になりそうなときは止まりましょう。



4 安全ルールを守る

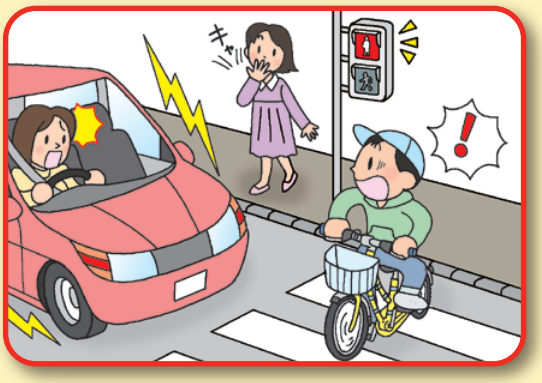
▶二人乗りはいけません。

▶自転車どうしで、横に並んで走ってはいけません。



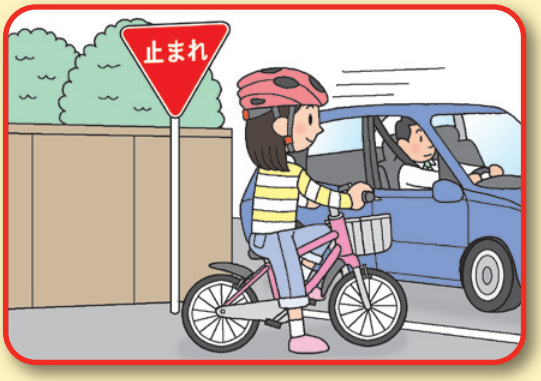
▶夜はライトをつけましょう。

▶信号は必ず守りましょう。



▶「止まれ」の標識や、道路に「止まれ」と書いているときは、必ず止まって安全を確認しましょう。

▶左右が見えにくい交差点を通るときは、しっかり左右の安全を確認しましょう。

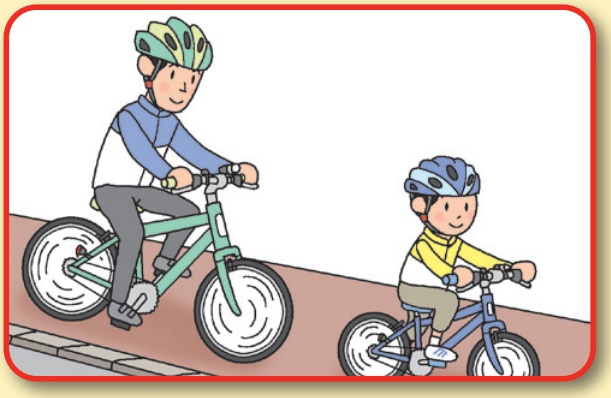


5 子どもはヘルメットを着用

自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶりましょう。

保護者の方へ

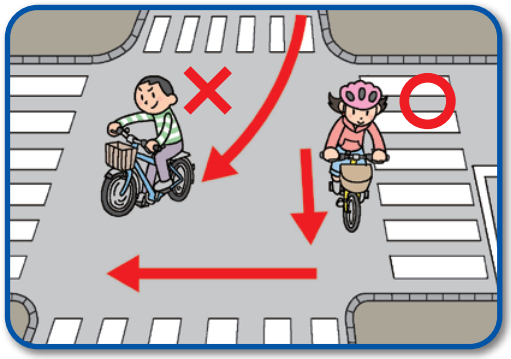
保護者の方は、13歳未満の子供にヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。
（道路交通法第63条の11）



交差点や横断歩道での注意

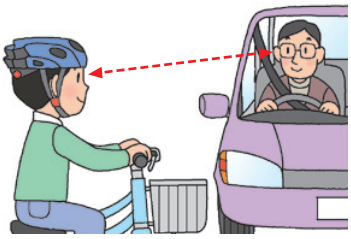
交差点を右に曲がるとき

●自転車は、交差点をななめにわたることはできません。道路の左側によって交差点の向こう側まで真っすぐに進み、安全を確認して直角に曲がります。



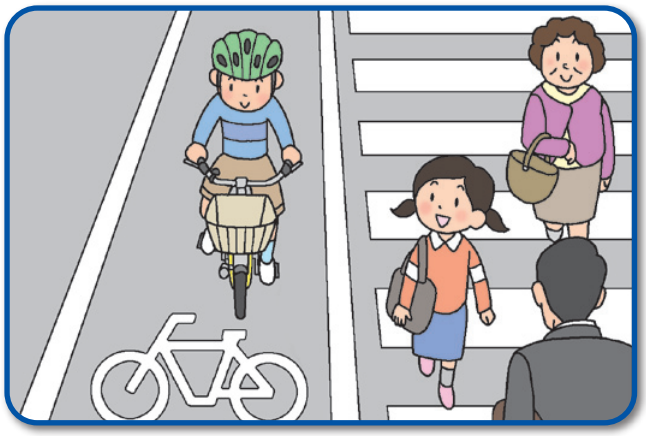
[交差点をわたるとき]

●車の運転手さんが気づいていないこともありますので、運転手さんが自分に気づいているか確認してからわたりましょう。

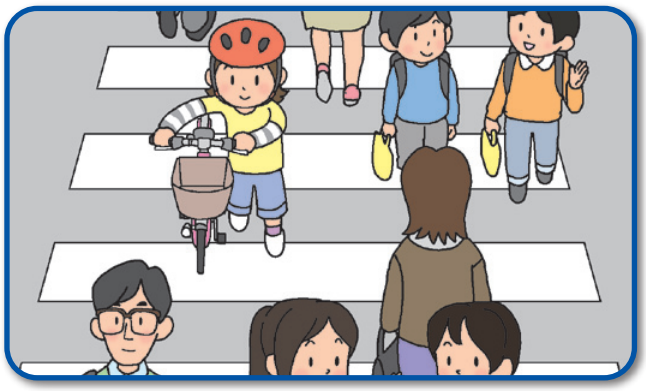


横断歩道をわたるとき

●横断歩道に自転車のマークと線があるときは、その中を通ってわたりましょう。



●横断歩道に自転車のマークと線がないときは横断歩道を通れますが、歩いている人のぼう害になりそうなときは自転車からおりて、自転車を押してわたりましょう。

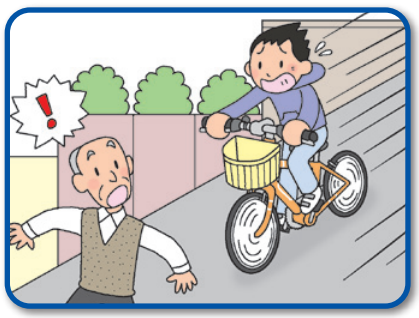


そのほかに注意すること

●傘をさしたままや、物をもったまま乗ってはいけません。

●イヤホンで音楽をきいたりなど、まわりの声や音が聞こえないようにしてはいけません。

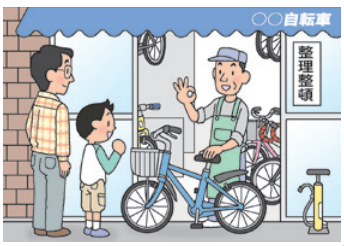
●ブレーキがきかない自転車に乗ってはいけません。



保護者の方へ

保護者の方は、お子さんが乗る自転車を点検して、不良な部分がある場合には、自転車販売店などで、整備をしましょう。

子供が起こした事故であっても、自転車の利用によって生じた損害は、賠償しなければならないことがあります。万が一の場合に備えて、保険への加入をおすすめします。



発行日　平成29年2月　編集・発行　警視庁交通部交通総務課

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。